

第1学年1組 外国語科（英語）学習指導案

平成24年11月20日（火）5校時

指導者 教諭 武田律子

ALT Natasha Austin

1. 単元名 Unit 9 「ケーブルカーに乗って」 （NEW HORIZON English Course Book1 ）

2. 単元の目標

- ペアワークにおいて、間違いをおそれず積極的に話す。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- 現在進行形を用いて人が何をしているか説明する。（外国語表現の能力）
- 現在進行形を用いた文と命令文の構造を理解する。（言語や文化についての知識・理解）

3. 学習の基盤（生徒観は省略）

教材観 本単元は、日本に住んでいる中学生とその友達がサンフランシスコ在住の叔母を訪ね、市内を案内してもらうという場面を扱っている。文法事項としては、パート1で現在進行形の肯定文、パート2では現在進行形の疑問文とその応答、パート3では Don't（動詞の原形）～と Be（形容詞）～の命令文が取り上げられている。現在進行形については、人物の活動の様子を説明するコミュニケーション活動を行わせるのに適した単元である。また、命令文については既習の「動詞の原形」から始まる文や Let's を使った文を復習し、さまざまなパターンの命令文を一度にまとめて練習することができる。内容としてはサンフランシスコ中心部の様子や観光名所に関する情報が含まれており、異文化に興味をもつよいきっかけになる。さらにチャイナタウンについて触れてあり、多民族国家という視点でアメリカ合衆国をとらえる機会にもなりうる。

指導観 本単元の学習を通じて、現在進行形と命令文の用法と意味を理解し、運用できる力を養いたいと考える。現在進行形を指導するにあたり、ALTとの実際のやりとりでオーラルイントロダクションをし、新出事項を自然に導入する。そして教科書本文の音読や基本文を用いたパタンプラクティスで文構造の確実な定着を図る。最終的には、絵や写真などの視覚的な情報をもとに現在進行形を用いて場面説明させる。その際、既習の表現（場所を表す on～、in～など）も応用してより詳しい情報を説明できるところまで高めたい。また、生徒同士による教え合いの場を設定し、自分たちで考え、問題を解決しようとする態度も養うよう計画している。命令文については、Unit 5 で一部すでに学習しているので、本単元で新出の Don't～や Be～の命令文と合わせて復習することで表現の幅を広げたい。

4. 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 表現の能力	ウ. 理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
①ペアワークにおいて、間違いをおそれず積極的に話している (話すこと・言語活動への取組)	① 現在進行形を用いて正しく話すことができる。 (話すこと・正確な発話)		①現在進行形を用いた文の構造を理解している。 ②命令文の構造を理解している。 (書くこと・言語についての知識)

5. 単元の指導計画

時間	○ねらい ・主な学習内容	評価規準	評価の方法
1	○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。	エ①	後日ペーパーテスト
	○現在進行形を用いた文の構造を知る。 ・現在進行形の構造、意味を知る。 ・教科書本文を通して、現在進行形の使い方を理解する。		
2	○現在進行形を用いた文に慣れる。(パート1) ・現在進行形の文が定着するように練習する。 ・教科書本文を通して、現在進行形の使い方を理解する。	エ①	ワークシート
3	○現在進行形を用いた文に慣れる。(パート2) ・現在進行形を用いた問答形式のゲームをする。 ・教科書本文を通して、現在進行形の使い方を理解する。	ア①	活動の観察
4	○命令文の構造を知る。 ・命令文の構造を知る。 ・教科書本文を通して、命令文の使い方を理解する。	エ②	後日ペーパーテスト
5 本時	○人々が何をしているか場面を説明する練習をする。 ・イラストを用いて状況説明の練習する。	ア①	活動の観察
6	○人々が何をしているか場面を説明する。 ・個別にスピーキングテストを受ける。 ・テストが終わったら、まとめプリントをする。	イ①	スピーキングテスト

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

・ペアワークにおいて、間違いをおそれず積極的に話す。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の評価

	おおむね満足と判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークにおいて、間違いをおそれず自分の力で説明している。	つまづいている箇所をグループ内の生徒同士で教え合い、その場で解決するよう促す。

(3) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の学習活動	教師の支援(・)と評価(★)
導入 15分	あいさつ 1 warm-up と 既習事項の復習	・ゲーム形式でALTと会話をする ・名詞の単数複数、場所を説明する表現、 現在進行形を復習する	・会話の際のリアクションに注意させる ・既習事項の定着を図る

展開 30分	2 本活動の流れと目標を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容と目標を知り、本時の見通しをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれが、どこで、何をしているかを明確にすることをおさえる
	3 場面説明の表現を考える（グループ）	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て、場面を説明する表現をグループで相談する ・代表生徒／グループが発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の教え合いを促す ・正しい表現を全体で確認する
	4 場面説明の練習をする（ペア）	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で確認した表現を用いてペアで場面説明の練習する ・パートナーのつまずきを助ける 	<ul style="list-style-type: none"> ★ペアワークにおいて、間違いをおそれず積極的に話している。 (活動の観察) ・活動が滞っているペアを支援する
終末 5分	5 活動の振り返り 6 宿題の確認と次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい表現があれば質問する 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時のスピーキングテストに向けて、練習ポイントを確認する。